

③公開特許公報(A)

昭54-65528

④Int. Cl.²
G 03 B 27/32
G 03 B 21/11
G 03 G 15/00

識別記号 ⑤日本分類
103 C 21
103 D 1
103 K 12

厅内整理番号 ⑥公開 昭和54年(1979)5月26日
6239-2H
6401-2H
6805-2H
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 11 頁)

⑦可変倍率リーダー・プリンター装置

⑧発明者 高麗英一

横浜市練区たちばな台2の9の

1

⑨特願 昭52-132251

⑩出願 昭52(1977)11月4日

⑪発明者 山崎貞一
富士ゼロツクス株式会社
東京都港区赤坂3丁目3番5号東京都世田谷区羽根木町一丁目
12-5

⑫代理 人 弁理士 米原正章 外1名

明　　細　　書

⑬発明の名称

可変倍率リーダー・プリンター装置

⑭特許請求の範囲

フィルム1の映像をスクリーン2、感光体3とどちらか一方に投影できるようにしたりーダー・プリンター装置において、フィルム1が被覆されるフィルム取せ台5を複数部取合6-7を実現機構を介して動力源に伝達し、投影鏡の倍率を変更する第1、第2最大レンズ20₁、20₂のどちらか一方を所定位置に移動可能に構成すると共に、映像1、感光体3と大レンズ20₁、20₂の切替手段と倍率変換機構とを相互に連動して切替作動する如く機械的に連係したこと特徴とする可変倍率リーダー・プリンター装置。

⑮発明の詳細な説明

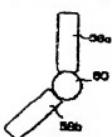
本発明はスクリーン上にマイクロフィルムの像を投影して、観察し、また投影を消去してマイクロフィルムと感光体を手動しながらマイク

ロフィルムの像を感光体に投影して複写する可変倍率リーダー・プリンター装置に関するものである。

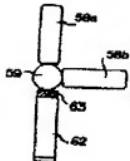
一般に、マイクロフィルム(以下「フィルム」とする)の映像に適する規格は極多の種類がある。またフィルムは被覆体の種類、大きさにより複数の被覆率があり、どのためフィルムに記載された面積のサイズが一定していない。また複写用紙として異なる大きさを複数ができる場合、必要とする投影鏡大倍率が異なり一定しない。

1例として、マイクロフィルムの規格として広く利用されているNMA(National Microfilm Association)またはASA(American National Standard Inc.)のA1規格の1枚の大さは10 mm×16.5 mmであり、また同A3規格では11.75 mm×16.5 mmである。既知のA1規格の大きさをもつてASA A4規格紙の大さを被覆体としてNMA-A1規格に複数かける場合の被覆率を25分の1とすれば1枚の

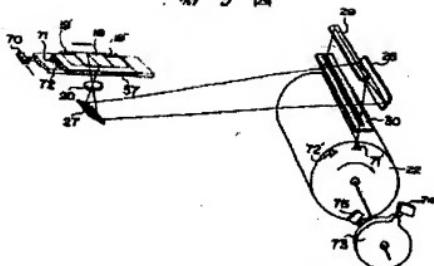
第 8 図



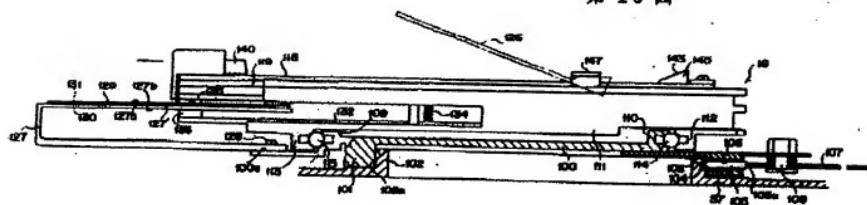
第 7 図



第 9 図



第10回



第12回

